



コラボレートアーティスト、  
**LOVE PSYCHEDELICO** (ラブサイケデリコ) に決定。  
**FM LOVEARTH** イメージソングが完成！

2005年1月18日  
(財) 2005年日本国際博覧会協会  
中部日本放送(株)  
(株)ZIP-FM

### 【コラボレートアーティストの決定】

FM LOVEARTH では、ステーションコンセプトを音楽的に表現し、放送期間を通して、バックアップしてくれるコラボレートアーティストとして、**LOVE PSYCHEDELICO** の就任が決定しました。

今回、**LOVE PSYCHEDELICO** がオリジナルでイメージソングを制作しました。70・80年代のロック&ポップスをOAしていくFM LOVEARTHのステーションイメージ、さらに愛称である「LOVEARTH」のメッセージ「地球への愛」をコンセプトに制作され、世界規模のイベントである愛・地球博の壮大さをイメージされた楽曲に仕上がりました。

タイトルは、「Everyone,everyone」で、2月9日に発売される**LOVE PSYCHEDELICO**のベスト盤「Early Times」に、新曲として収録されています。

### ～LOVE PSYCHEDELICOからのメッセージ～

「友達への愛・家族への愛・生物そして地球そのものへの愛。みんなが持っている愛を感じてもらえるような曲ができました。シンプルで力強い曲になったと思うので、聴いている人、それぞれが自分たちの中で、イメージを広げてくれればうれしい。FM LOVEARTHのスタッフの一員として、会場には何度も行きたいし、もちろん個人的にも愛・地球博を楽しみたい。ぜひ、会場でお会いしましょう！」

コラボレートアーティスト：**LOVE PSYCHEDELICO**

イメージソングタイトル：**Everyone,everyone**

収録アルバム：**Early Times**

※2005年2月9日 リリース

LOVE PSYCHEDELICO 本人選曲による新曲2曲を含むベスト盤

<http://www.jvcmusic.co.jp/delico/>

## LOVE PSYCHEDELICO プロフィール

2000年4月21日に「LADY MADONNA～憂鬱なるスパイダー～」でデビュー。  
60's～70'sのロックテイストと現代的なデジタルシーケンスの融合は、それまでに無かった全く新しいサウンドの世界を発表。印象的なリフや日本語と英語が自然な形で行き交う独特な歌詞、そして KUMI の存在感のあるボーカルスタイルによって、彼らは音楽シーンに衝撃をもって迎えられることとなった。

先のシングルから「Your Song」「Last Smile」と立て続けにリリースされた3枚のシングルで一気に認知度を増した彼らは、記念すべき1stアルバムを「THE GREATEST HITS」と名付け2001年1月11日にリリース、210万枚を超える驚異的なセールスを記録する。

その後アメリカでの「SOUTH×SOUTH WEST」に参加しNYやChicago、LAなどでもライブを行なうなど精力的な活動を続ける一方、「Free World」「I will be with you」のシングルをリリース。2002年1月9日に自らのバンド名を冠した2ndアルバム

「LOVE PSYCHEDELIC ORCHESTRA」をリリース。90万枚を越えるセールスを記録している。

その後は日本での「FUJI ROCK FES.」「THE ROCK ODYSSEY '04」やバリ島での「World Peace Music Awards in BALI」にも出演。「裸の王様」「I am waiting for you」に続く8thシングル「My last fight」はテレビドラマ「ハコイリムスメ！」の主題歌として使用される。

2004年2月25日には3rdアルバム「LOVE PSYCHEDELICOⅢ」をリリースし、11月現在65万枚のセールスを記録している。また、このアルバムに収録されている

「Everybody needs somebody」は全編韓国語による映画「ホテルビーナス」の主題歌となった。その後のライブツアー“Mind Across the Universe 2004”は日本6大都市と韓国・香港で実施。11月16日に無事、幕を下ろす。

2004年12月8日にニューシングル「fantastic world」を発売。

2005年2月9日、FM LOVEARTHのイメージソング「Everyone, evryone」を含む初のベスト盤「Early Times」を発売。

FM LOVEARTH では、放送期間を通して、次世代の放送システムの実証実験を実施していきます。この実証実験を通じて、デジタル時代の放送の将来像や可能性の一端を広く示していくことを目的としています。

## 【放送利用楽曲のオンライン全曲利用報告システム導入】

「メロディーズ・システム」\*1と連携した「デジタル・キューシート・システム」\*2などから構成される放送使用楽曲のオンライン全曲報告システム\*3の導入を行います。このシステムを利用することで、高品質な放送を効率よく創出するだけでなく、放送局から社団法人日本音楽著作権協会（以下 JASRAC）への放送使用楽曲の報告作業をスムーズに行うことが可能となります。さらに、放送している楽曲が携帯で配信可能か否かという関連情報も番組制作者が把握することができるようになり、番組内容や関連サービスの高度化や高品質化を促すことになるでしょう。このことによって、放送における楽曲の利用状況の全てをより確実に把握できることが可能になり、楽曲の放送利用における著作権等の権利者への正確な分配につながります。

本実証実験には、JASRACより特別協力をいただいております。FM LOVEARTH は、本システムを利用し全曲報告することで、放送局と権利者団体双方において楽曲報告の省力化を実現します。

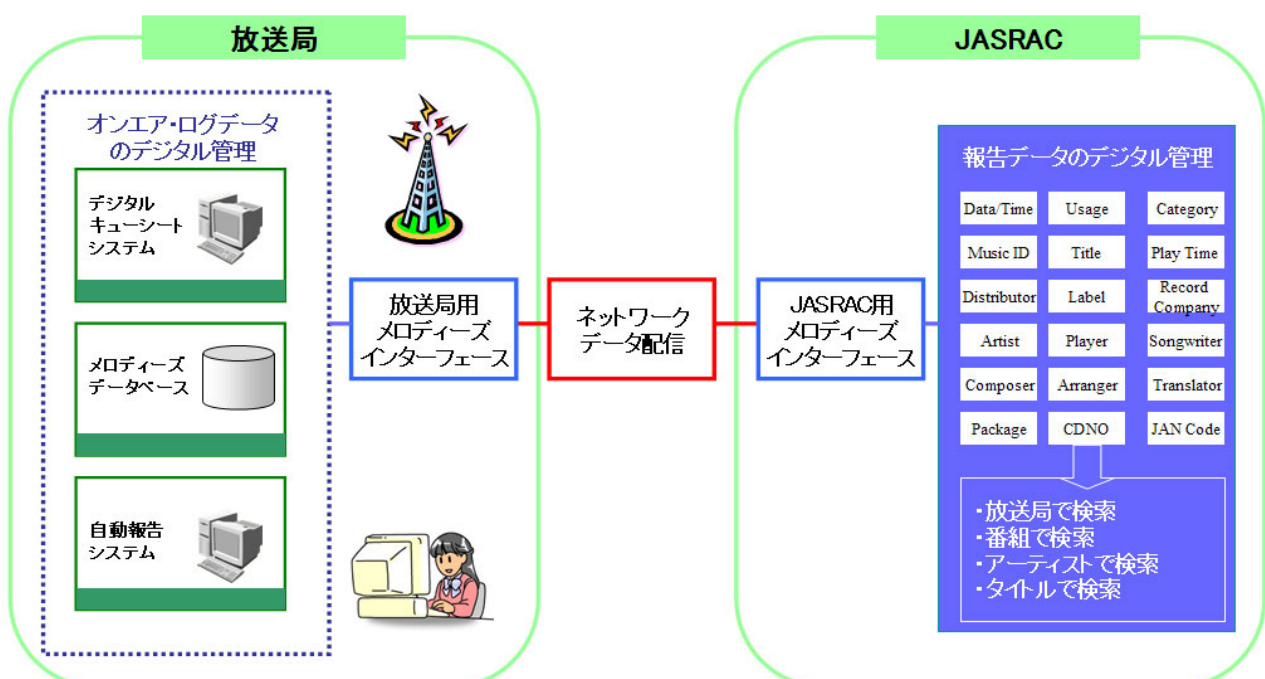
### \*1 メロディーズ・システム：

株式会社メロディーズ&メモリーズグローバルが提供する放送において正確な著作権管理ができるためのシステム・ソリューション。楽曲、CM 映像等のコンテンツ管理を効果的に行なうために、楽曲などのコンテンツにユニークな ID を付番したメロディーズデータベースが中核を成す。

### \*2 デジタル・キューシート・システム：

FM放送局において、どの楽曲をいつ放送するのか等の管理するための装置。番組制作を効率化するため、本システムは、楽曲情報の管理、選定、送出管理などを一元的に行うことができる。このことで、制作者はより番組の中身の高度化に専念ができ、番組の高品質化などにつながる。

### \*3 オンライン全曲報告システムの概要図



## 【KDDI株式会社と共同で行う様々な実証実験】

FM LOVEARTH では、KDDI 株式会社と共同で、愛・地球博を舞台に様々な実証実験を行っていきます。毎日1時間、「着うた®」 または、「着うたフル™」を提供している楽曲から OA する番組を構築するなど、FM ケータイの機能をフルに活用し、「放送」と「通信」を連携させた新しいラジオメディアのあり方を模索していきます。具体的な内容については、放送期間中、随時発表していきます。

## ～その他報告事項～

### 【USENによる愛知・岐阜・三重全エリアへの再送信】

FM LOVEARTH では、本来の電波による放送エリアに加え、愛知・岐阜・三重の全エリアに対し、(株)有線ブロードネットワークスの協力で、再送信を行います。USENに加入しているリスナーの方々は、愛知・岐阜・三重内であれば、聴取可能となります。(チャンネル:I-3ch)

### 【24時から江崎グリコ提供で「グリコのおまけ」コーナーを放送】

FM LOVEARTH の基本放送時間は、7:00～24:00 ですが、毎日 24:00 から 10 分間、その日の振り返りをお届けする「グリコのおまけ」コーナーを江崎グリコの提供でお送りします。DJ が実際に感じた会場の雰囲気、愛・地球博のおすすめ情報など、スペシャルな「おまけ」をリスナーの皆様に提供します。